

北海道 福島町立福島中学校 松前町立松前中学校



	氏名	校長・教員
監督名	折原 賢史(松前中)	○
コーチ	中川 陽介(福島中)	○
コーチ	宮腰 侑河(福島中)	○

学校長	福島町立福島中学校 岩井 祐巳 松前町立松前中学校 大橋 栄寿
学校所在地	北海道松前郡福島町字月崎357番地 北海道松前郡松前町字博多265番地
電話	0139-47-2004 0139-42-2125

背番号	選手氏名	ふりがな	位置	学年	投	打
1	本庄 涼真(福島中)	ほんじょう りょうま	投手	3年	右	右
②	川村 亮太(松前中)	かわむら りょうた	捕手	3年	右	右
3	福野 海(松前中)	ふくの かい	一塁手	2年	右	左
4	藤林 翔真(松前中)	ふじばやし しょうま	二塁手	2年	右	左
5	馬躰 光瑛(福島中)	ばたい こうえい	三塁手	2年	右	左
6	山本 朔也(福島中)	やまもと さくや	遊撃手	2年	右	左
7	富士 翔和(福島中)	ふくし とわ	左翼手	2年	右	右
8	佐々木 大斗(松前中)	ささき ひろと	中堅手	2年	右	右
9	細川 歩夢(松前中)	ほそかわ あゆむ	右翼手	2年	右	右
10	野村 柊斗(松前中)	のむら しゅうと	外野手	3年	右	右
11	吉田 怜恩(松前中)	よしだ れおん	外野手	2年	右	右
12	佐藤 冬騎(松前中)	さとう ふゆき	外野手	2年	右	右
13	松村 脩人(福島中)	まつむら しゅうと	投手	1年	右	右
14	石岡 大河(福島中)	いしおか たいが	内野手	1年	右	右
15	安田 吏翔(福島中)	やすだ りと	外野手	1年	右	右
16	荒谷 道夢(松前中)	あらや どうむ	外野手	1年	右	右
17	大輪 雄牙(松前中)	おおわ ゆうが	外野手	1年	右	右
18	高橋 雄太(松前中)	たかはし ゆうた	外野手	1年	右	右

第40回 全国中学校軟式野球大会 出場校紹介

北海道 ブロック	ふりがな	ほっかいどう	ふくしまちょうりつふくしまちゅうがっこう・まつまえちょうりつまつまえちゅうがっこう								
第1位	学校名	北海道	福島町立福島中学校・松前町立松前中学校								
チームの戦力分析											
1 投手について											
渡島大会、北海道大会では3年の本庄、2年の馬躰と藤林を中心に勝ち抜くことできた。本庄、藤林はコントロールが生命線、馬躰は力投型である。投手陣の課題は試合の立ち上がりである。上手く乗り切ることで、徐々にリズムをつかみ、安定した投球をすることができる。北海道大会でこれらの投手が落ち着いて投球できた要因は、捕手であり、主将でもある川村の存在も大きい。投手陣が川村のリードを信頼し、自信をもって投球することで、しっかりと自分たちの試合の流れをつくりたい。											
2 守備について											
3年の川村、本庄が中心となるが、チームの大半は2年生が占めている。1年の時から試合を経験している選手が多く、体格では3年に劣るものの、打者のスイングを見てポジショニングを変えるなど連携の精度は高まってきている。内野の福野、藤林、馬躰、山本、外野の福土、佐々木、吉田、細川、佐藤といった2年生の元気さや積極性のある守備が、攻撃へ良いリズムをつくっている。課題としては、大舞台の雰囲気にもまれなよう1球1球に対して集中力を高められるかにかかっている。精神面でサポートができるようにベンチメンバーからの声かけも徹底したい。											
3 攻撃について											
選球眼、粘りを信条としている。さらにバントやエンドランなど走者を進塁させる意識も強くなってきている。攻撃においても川村、本庄が打線の軸となるが、北海道大会では、それぞれが状況に応じた攻撃を心がけ、追い込まれても粘り強く、次につなぐ意識をもつことができた。中軸に頼らず、2アウトからでも出塁し、つなぐ姿勢。凡退であっても、次に生かせる意味のある打席となるように意識している。走塁では、盗塁だけではなく、打者を助ける動きも心がけている。大きな大会ほど慎重さも増してくるため、勝負どころでは臆することなく積極的な走塁をしていきたい。											
4 チームの特徴											
この3年間、福島中学校・松前中学校の合同チームで大会に臨んできた。3年生の川村、野村（松前）、本庄（福島）がリーダーシップを発揮し、チームワークを高めてきた。合同での練習は週末がほとんどであるが、限られた時間内で全選手が集中して取り組み、単独校に負けないように細かなプレーを確認してきた。勝敗のポイントはチームの大半を占める2年生の結束力にかかっている。試合に出場する、しないにかかわらず、一人一人がチームのために「今、自分ができること」を考え、「すぐに行動する」ということをモットーに取り組んでいる。合同チームとして初めて全国大会に出場することを誇りとし、試合では平常心で勝利をつかみとりたい。											
5 全国中学校軟式野球大会出場回数		0回	6 チーム成績(練習試合を含む) 35勝 8敗 5分								
7 本大会までの軌跡(大会ごとに対戦相手とスコアを記入してください)											
渡島中学校体育 大会			地区大会	都道府県大会			ブロック大会				
回戦	スコア	対戦校	回戦	スコア	対戦校	回戦	スコア	対戦校	回戦	スコア	対戦校
1回戦	7-0	八雲				2回戦	6-1	伏見			
準々決勝	2-0	木古内・知内				準々決勝	5-3	港南			
準決勝	1-0	砂原				準決勝	2-1	富川・門別			
決勝	2-0	鹿部・浜分				決勝	11-7	美瑛			
8 学校紹介(開会式のアナウンスの参考にさせていただきます)											
北海道渡島半島の最も西側に位置する福島町と松前町から、各町の福島中学校と松前中学校が合同チームを組んでの出場となります。福島中学校は、千代の山・千代の富士という二人の横綱を生み出した「横綱の里」福島町にある唯一の中学校で全校生徒70名、野球部員6名の小規模校です。体育大会などの学校行事では縦割りグループで競技を行い、学年の枠を越えて育まれたチームワークが強みとなっています。松前中学校は、全校生徒130名。統合4年目を迎え、新校舎に加えて天然芝、人工芝グラウンドが完成し、今年度から小中一貫の「松前学園」としてスタートを切りました。毎日広いグラウンドで体育や部活動が行われ、元気な生徒たちの声が響きわたっています。											
9 主将の抱負											
全国大会に出場できたのは、保護者、指導してくださった先生方、応援してくださった松前中学校と福島中学校の全校生徒、地域の皆様のおかげです。全国大会という大舞台を楽しみながら、少しでもお世話になった方々へ、私たちの全力プレーで恩返しができたと思います。また、私たち3年生は、このチームで参加できる最後の公式戦となります。悔いが残らないよう1戦必勝を胸にプレーしたいと思います。											